

河川基金助成事業

筑後川を学び 次世代へ伝える活動

報告書

助成番号： 2018—6113—018

筑後川まるごと博物館運営委員会
館長 浅見 良露

平成 30 年度

1. 事業概要

1.1 目的

筑後川は特色ある自然・景観に恵まれ深い歴史と独特の文化を持つ地域である。しかし流域人々の筑後川への関心は薄く、川や水辺など地域の環境の課題を抱えている。この流域の「ありのままの姿」を住民が学んで知る場を創り、子ども達から高齢者まで、川の環境改善と地域の活性化へ向けて実際の活動を行う人々の育成へとつなげていくことを目的とする。

1.2 概要

①筑後川流域講座

流域で活動する人々を講師に学生、一般向けの公開講座を行う。年間 24 回、延べ 1,464 人参加。

②リバーツーリズム活動

流域の地域資源を活用し川の魅力を再発見するツアーを行う。年間 3 回、延べ 55 人参加。

③子どもたちの環境体験学習

川での自然体験学習や、生き物などの環境学習活動を行う。また、プロジェクトWETを活用して水について楽しく学ぶ体験学習を行う。年間 10 プログラム延べ 18 日、延べ 407 人参加。

1.3 活動の経緯

筑後川流域講座は 2001 年に流域の人材育成を目標に、流域住民や学生を対象に毎週月曜日に久留米大学で始まり今年度で 18 年目となる。講座の第 1 期生 20 人が中心となって、2003 年に筑後川まるごと博物館運営委員会が正式に設立された。2003 年 6 月に「筑後川発見館くるめウス」がオープンし、ここを拠点に筑後川まるごと博物館は活動することになった。2004 年より一般市民や子どもたち向けのさまざまな体験イベントや講座や展示活動を行い、2011 年よりは「くるめウス」において自然を守るリーダーを育成する目的で「子ども学芸員養成講座」を行なっている。また 2017 年からは、プロジェクトWETを活用した子ども向け環境体験の活動も行なっている。

2. 事業・活動の内容

2.1 筑後川流域講座の推進

[講座テーマ] 筑後川流域には、個性豊かな地域にいろいろな人々が活躍している。当年度で 18 年目となるこの公開講座は「筑後川流域の環境と歴史・文化のつながり」をテーマに、流域の問題、課題やそのための対策などについて、現場で活動している方々に講義をお願いしている。この講座は、「筑後川流域の風土と社会」を中心テーマとして、地域の現場を見学する現地学習も並行して行って、受講生が筑後川を身近に感じる事を目的として実施している。

[期間] 2018 年 4 月 16 日～7 月 23 日（前期 12 回）月曜日 16：40～18：10

2018 年 9 月 24 日～2019 年 1 月 9 日（後期 12 回）月曜日 16：40～18：10

[内容] 筑後川流域で活動する人々が各回の講師となって実施した。

[結果] 期間中に延べ 24 回の講義を実施し、延べ 1,464 人が受講した。

2.2 流域リバーツーリズム活動

流域の人々の協力のもと、地元の魅力を伝えるコースを設定し流域リバーツーリズムを実施した。現地の案内は地元を知り尽くした人をお願いし、全体の案内は当博物館の学芸員（案内人）が行った。

- [内容] 5/6 上流現地学習ツアー「源流・清流の森と九重高原、八丁原地熱発電所を巡る」
7/1 中流現地学習ツアー「平塚川添遺跡と江戸期築造の井堰とH29 豪雨水害跡を巡る」
12/9 下流矢部川現地学習ツアー「柳川堀割、八女岩戸山古墳と矢部川流域を巡る」
[結果] 年間に3回実施し、延べ55人が参加した。

2.3 子どもたちの環境体験学習

主に小学生を中心に、地域や川への関心を深め、流域の環境について考えるきっかけとなることを目指して環境や自然などを学ぶ教室や、プロジェクトWETを活用して水を楽しく学ぶ体験学習を行った。この活動は当会の学芸員や流域の団体の連携協力により行った。

[会場] 筑後川防災施設くるめウス及びその周辺の水辺環境

- [内容] ①4/22、5/27 (2回連続講座)「昆虫標本づくり講座」
②5/19 子どもプロジェクトWET体験-1「体験ゲームでわかる水のふしぎ」
③7/16、7/25、7/29 (3回連続教室)夏の自然体験教室「こ～ら川子ども探検隊」
④8/19 「ちくご川どうぶつ探偵団」
⑤8/4 子どもプロジェクトWET体験-2「体験ゲームでわかる水のふしぎ」
⑥10/28 子どもプロジェクトWET体験-3「体験ゲームでわかる水のふしぎ」
⑦11/24 子どもプロジェクトWET体験-4「体験ゲームでわかる水のふしぎ」
⑧2019年2/2 子どもプロジェクトWET体験-5「体験ゲームでわかる水のふしぎ」
⑨2019年3/9 子どもプロジェクトWET体験-6「体験ゲームでわかる水のふしぎ」
⑩7/15、8/5、9/2、10/7、11/4、12/2、(6回連続講座)「ちくご川子ども学芸員養成講座」

[結果]年間10のプログラムを行い、延べ18日実施し約407人が参加した。

3. 事業・活動の効果等

今年度の一連の活動で、子どもたちから高齢者まで幅広く多世代の人々に、筑後川流域の自然や環境、流域の歴史文化などのありのままの姿と、課題や魅力を伝えつつ、川への関心を高めることができた。

筑後川流域講座は、18年目を迎え筑後川の現状や課題などを学ぶ講座として定着してきており、一般市民及び学生を含めて延べ1,464人が参加した。流域の自然、歴史、文化、エネルギー、防災などについて流域で実際に活動研究する講師の話聞き、新しい知識を得て自らの学びを深めた。また、体験実習として行ったプロジェクトWETを使った子供たちの体験活動にも一緒に参加し、将来の指導者へ向けて心構えができたものと思われる。

流域リバーツーリズム活動は、流域の現状を現地見学しながら体験できると、市民や学生に好評で今年度も延べ55人が参加した。流域の上・中・下流域を訪問し現地学習ツアーに参加した学生や一般市民たちは、現地においてそこで活動する人々の話を聞き、実際に目にする事で、流域の実情や課題を知ることができた。今後、彼らが流域で活動し、指導し、また人を案内する立場になったとき、この経験は必ず生きてくるにちがいない。

子どもたちの環境体験学習は、1年を通して親子を含めて延べ407人が参加した。子ども達が水辺の自然環境の中で、多くの生き物と触れ合うことで、河川を守る事の大切さを実感し、自らテーマを見つけて調査、研究し発表できる力がついてきた。また、プロジェクトWETの体験学習「水のふしぎ」に参加することで、水の不思議な性質や水の大切さなどの理解が親子で深まったものと考えている。

特に、「ちくご川子ども学芸員養成講座」は、「自然を守るリーダーを育てる」ことを目標として「キミの得意をグリーンと伸ばそう」を合言葉に、今年度で8年目の活動を行った。今年度は水辺の昆虫を詳しく知りたい子どもたちが各回13人から最大22人(小学生から高校生まで)の参加があり、子供たちにとって多くの体験をして充実した活動となった。この活動は、年間6回の連続講座に参加することが必要であり、専門家が子どもたちに密着指導して、5回のフィールドワークで各自の調査研究活動を行った。最終回では、子どもたちは自分の調査研究のまとめ作品作りを行って、保護者や一般の人にも交えた約50人の前で、一人一人元気に発表した。今年は特に低学年の子どもたちが頑張り、小学1～3年生9人の立派な作品と

物おじしない発表は注目を浴びた。また高学年の子供たちも、自分の得意な分野をさらに掘り下げて調査研究した成果を発表して会場の喝采を受けていた。

今年は、最後の発表までできた小学生 10 人に「ちくご川子ども学芸員」認定書を授与した。これで 2011 年の第 1 期から数えて通算 73 人となる。この講座には連続 5 年以上の参加者が 4 人、連続 4 年と 3 年参加者がそれぞれ 1 人づついる。子どもたちは 1 回発表を経験すると、度胸がついて次回も出たくなっていくようだ。また経験が重なる、内容もどんどん深くなってきている。高校生になるとこの講座は卒業となるのだが、彼らは今でも継続参加して講師の助手を務め、自分の研究をしながら小学生の相談に熱心に対応していた。この活動の中で、中学、高校生は自分の将来を見つけかけており、また低学年の子どもたちは、そんな先輩たちの背中を見ながら彼らと交わって仲間とともに興味を深めつつあるように感じる。「ちくご川子ども学芸員養成講座」の活動は、平成 30 年度生物多様性アクション大賞審査委員賞を受賞した。さらに、日本自然保護大賞には平成 29 年度に続き連続入選を果たした。

また、子どもたち向けのプロジェクト WET 体験「水のふしぎ」を行った。これは、今年度まで 4 回のプロジェクト WET エducator 講習会を行い 90 人のエducator が誕生したことを受けて、彼らの WET プログラムの研究と実践の場を兼ねて、くるめウスに来館した子供たちを対象に行った。身近な水について体験活動を通して理解を深めることを目的に、年間 6 回行ない学生も含めて延べ 118 人が参加した。活動終了後、必ず振り返りの会で改善点を話し合うことを重ねたので、次第にアクティビティが進化して身につけていくことが実感された。

各回のプロジェクト WET 体験「水のふしぎ」の報告を以下にまとめる。

(1) 5月 19日 子ども版プロジェクト WET 「体験ゲームでわかる、水のふしぎ」実施報告 1

久留米大学は昨年より WET 導入校に指定されている。この日は公募で集まった親子約 10 人と大学生 11 人が一緒にプロジェクト WET のプログラムを楽しく体験して、水について学んだ。くるめウスを中心に活動する WET のファシリテーター、エducator 6 人が先生役を交代で行い、「青い惑星」「ハンプティダンプティ」「水リンピック」「驚異の旅」の 4 つのプログラムを行った。学生の感想に「子どもたちとのふれあいが楽しかった」と何人も書いていた。

(2) 8月 4日 子ども版プロジェクト WET 「体験ゲームでわかる、水のふしぎ」実施報告 2

夏休みの子どもたち向けに、水を学ぶ体験学習を行った。プロジェクト WET の指導者資格を持つ 4 人が講師となり、事前公募で集まった親子 18 人とともに、5 つのアクティビティで楽しく学んだ。夏休みの自由研究に役立ててもらおうと、水や環境についてクイズ形式で子どもたちに質問を投げかけながら進めた。子供達や保護者からは「ゲームを通してわかりやすく学べた」「参加型で楽しめた」などの感想があった。

(3) 10月 28日 子ども版プロジェクト WET 「体験ゲームでわかる、水のふしぎ」実施報告 3

去年から 3 回くるめウスで開催したプロジェクト WET エducator 講習会で指導者の資格を取得した人など 8 人のファシリテーター及びエducator が参加して、プロジェクト WET 自主研究会を開催し、子ども向けプログラム実施へ向けて話しあった。その後事前募集して集った親子 12 人と学生 2 人と一しょに、「体験ゲームでわかる “水のふしぎ”」を実施した。今回子ども向けに改良して始めて「アクアボディ」「動いている分子」「ブルービーズ」「塵も積もれば」の 4 つのプログラムを実施した。参加者の感想として「水の循環が楽しかった」「水の大切さが体験してよくわかった」などがあった。

(4) 11月 28日 子ども版プロジェクト WET 「体験ゲームでわかる、水のふしぎ」実施報告 4

子どもたちに「水」について教える資格を持ったプロジェクト WET ファシリテーター、エducator 6 人が、くるめウスに集い 9 回目となる自主研究会を行い、子ども向けプログラム実施へ向けて改善策を話しあった。実施の際は、子どもたちに「水の大切さ」や「水の性質」等を知ってもらう、という目的と活動の意味をまず伝える必要があることを皆で確認した。その後事前募集して集った親子 11 人と久留米大学生 14 人に対してプロジェクト WET の体験活動を行った。今回は「水リンピック」「アクアボディ」「塵も積もれば」「ブルービーズ」の 4 つのプログラムを実施した。「ブルービーズ」では、人で川の流れをつくり、季節の移り変わりによって水の流れが早くなったりゆっくり だったりすることを自分の体で体験した。参加者の感想として「親子と一緒に活動するのが楽しくて良かった」「水の大切さや、水のふしぎな性質がわかった」などがあった。

(5) 2月 2日 子ども版プロジェクト WET 「体験ゲームでわかる、水のふしぎ」実施報告 5

くるめウスにおいて親子 18 人が参加して、身近な水や環境を守る大切さなどについて、ファシリテーター 4 人の指導で体験ゲームを行ないながら楽しく学習した。この日は 4 つのアクティビティ「水リンピック」「侵入者」「塵も積もれば」「驚異の旅」を行い、「水リンピック」では水の性質と環境問題、「侵入者」では侵入外来種と生態系の変化、「塵も積もれば」では川の汚染、「驚異の旅」で

は水の循環について学んだ。参加者の感想として「学びが多く体験しながらわかりやすかった」などがあった。

(6) 3月9日 子ども版プロジェクト WET「体験ゲームでわかる、水のふしぎ」実施報告 6

この日は、筑後川河川敷の利活用のための社会実験イベント「第1回リバークルーフエスティバル in 筑後川」が開催され、朝から多くの人でくるめウス周辺は賑わった。これに合わせて、プロジェクト WET ファシリテーター 6 人が集まって子ども向け WET 体験会を行ない、親子 18 人が参加した。4 つのアクティビティ「青い惑星、水リンピック、ブルービーズ、驚異の旅」を行い、参加者は楽しんで体を動かしながら、水の大切さや、そのふしぎな性質、自然環境を守ることの大切さ、水の循環などについて学んだ。参加者からは「水の大切さを再認識した」「水の循環が体験できてわかりやすくてよかった」などの感想があった。

これらの活動を幅広く行い、人々が川や流域のありのままの姿を知り、河川環境の改善や地域の活性化へ向けて具体的な次への行動へつなげることが期待できる。そのためには、子ども達から高齢者まで、多様な人々の関心を高め、また彼らが興味を持ち、楽しめることを常時行っていくことが必要である。さらには流域各地の地域資源を掘り起こし、人々がまず地域を知る場を創っていくことが必要である。この活動を継続し地域の未来を担う子どもたちを育て、川づくり地域づくりで活動する人材を増やし、地域の将来につなげたい。

筑後川流域講座 活動写真 2018年4月～2019年1月

<前期>



4月16日「筑後川の概要とまるごと博物館」



4月23日「水郷ひたの清流復活運動」



5月7日「上流域の自然エネルギーの現状」



5月14日「ヒナモロコと共存できる
農村環境の歴史」



5月21日「筑後川4堰と江戸期の
水利の技術システム」



6月4日「有明海と下流域の生き物と自然の変化」



6月25日「筑後川の恵みと脅威の歴史Ⅱ」



7月2日「流域版・今すぐできる防災対策
(久留米大学周辺の地域特性と防災)」



7月9日「21世紀型博物館の展望」



7月16日「水循環基本法と流域の連携」



7月23日「復習テスト(まとめ)」

<後期>



9月24日「筑後川の概要とまると博物館」



10月1日「筑後川豪雨水害と森林の環境」



10月8日「筑後川流域における環境教育の現状」



10月22日「中流・田主丸の風土と歴史」



10月29日「川で活動する住民団体等の
役割と取り組み」



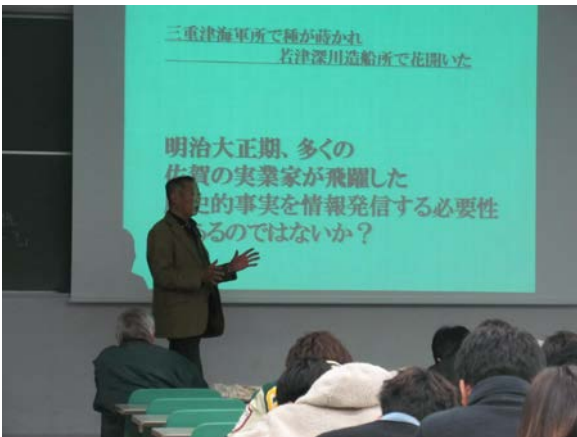
11月12日「水郷・柳川の風土と再生の歴史」



11月19日「下笠ダムと蜂の巣城、
闘争から60年」



12月3日「筑後川流域の脅威と恩恵の歴史
(古墳時代～)」



12月10日「下流大川の近代化遺産と
佐賀財閥の関わり」



12月17日「地図で見る久留米の歴史、風土」



12月24日「筑後川流域圏の経済地図」



2019年1月7日後期最終講「復習テスト」

筑後川リバーツーリズム 活動写真 2018年5月～12月



5月6日「本流水源、清流の森と九重高原
八丁原地熱発電所を巡る」



7月1日中流現地学習ツアー
「平塚川添遺跡と江戸期の井堰・
H29 豪雨水害跡を巡る」



12月9日下流現地学習ツアー
「柳川堀割、八女岩戸山古墳と
矢部川流域を巡る」

筑後川リバーツーリズム 活動写真 2018年5月～12月



5月6日「本流水源、清流の森と九重高原
八丁原地熱発電所を巡る」



7月1日中流現地学習ツアー
「平塚川添遺跡と江戸期の井堰・
H29 豪雨水害跡を巡る」

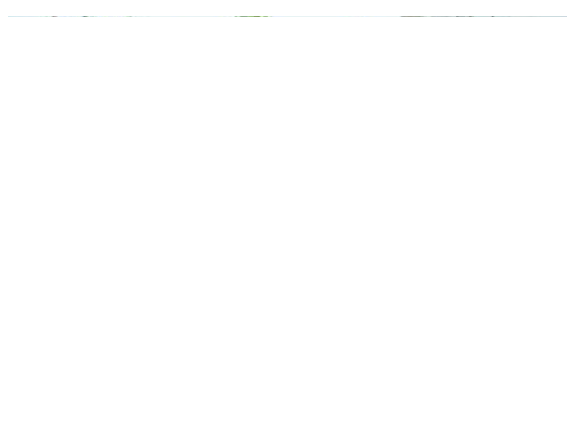


12月9日下流現地学習ツアー
「柳川堀割、八女岩戸山古墳と
矢部川流域を巡る」

子どもたちの体験活動写真 2018年4月～2019年2月 No.1



4月22日
「昆虫標本づくり講座」1回目



5月27日
「昆虫標本づくり講座」2回目



5月19日 子どもプロジェクトWET体験-1
「体験ゲームでわかる水のふしぎ」



7月16日 「こ～ら川子ども探検隊（下流）」
1回目



7月25日 「こ～ら川子ども探検隊（中流）」
2回目



7月29日 「こ～ら川子ども探検隊
3回目（まとめと発表）」

子どもたちの体験活動写真 No. 2



8月4日子どもプロジェクトWET体験-2
「体験ゲームでわかる水のふしぎ」



8月19日「ちくご川どうぶつ探偵団」



10月28日子どもプロジェクトWET体験-3
「体験ゲームでわかる水のふしぎ」



11月24日子どもプロジェクトWET体験-4
「体験ゲームでわかる水のふしぎ」



2019年2月2日子どもプロジェクトWET体験-5
「体験ゲームでわかる水のふしぎ」



3月9日子どもプロジェクトWET体験-6
「体験ゲームでわかる水のふしぎ」

子どもたちの体験活動写真 No. 3

●「ちくご川子ども学芸員養成講座」6回連続講座



7月15日子ども学芸員養成講座 第1回



8月5日子ども学芸員養成講座 第2回



9月2日子ども学芸員養成講座 第3回



10月7日子ども学芸員養成講座 第4回



11月4日子ども学芸員養成講座 第5回



12月2日子ども学芸員養成講座 第6回

今迄の研究成果をまとめ、皆の前で発表した人に、子ども学芸員認定書を授与した

子どもたちの体験活動写真 No. 4

以下4枚は活動中の参考写真



子ども学芸員養成講座
フィールドワーク、みんなで昆虫採集



子ども学芸員養成講座
みんなで図鑑で調べる



子ども学芸員養成講座、最終回
発表へ向けて自分の作品作り



子ども学芸員養成講座、最終回
みんなの前で発表する

その他参考資料

1. 映写スライド
2. 予告チラシ
3. 久留米市ホームページ

河川基金
公益財団法人河川財団
による河川基金の助成
を受けています。



筑後川の概要
流域講座2018(前期)



2018年4月16日 久留米大学51A教室
筑後川まるごと博物館運営委員会 鍋田康成

1. 筑後川を学ぶ意義 地球の水・日本の水 水は夏？



水戸川(1500m) 大分県 伊佐市
宇佐川(1700m) 大分県 宇佐市

地球の水

地球上の水の量
地球の水 13.8億km³
地球の水味の厚さ 1,400mm

地球の水の97.3%は海水です。
淡水は、そのうち約0.0001%しかありません。



1

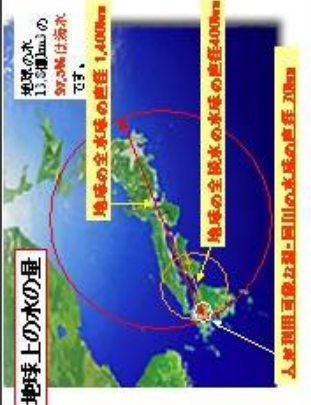
2

3

4

地球上の水の量

地球の水 13.8億km³の97.3%は海水です。
地球の全水味の厚さ 1,400mm
地球の全淡水の水味の厚さ 200mm
人は年間100kgの水を消費する。



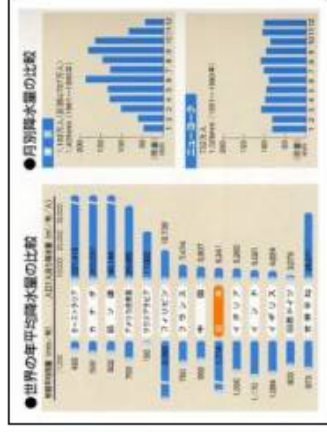
地球上の水を100%とすると

海水 99.5%
淡水 2.5%
川や湖の水 0.01%

(例) 大きさは、こんな感じです



※身近な川の水は、わずか0.0001割にすぎない、1万分の1



5

6

7

8

ご存じですか？ 筑後川、次善川は大ピンチです。

日本では...

昭和53年と平成6年に福岡市が水不足になった時の...
新聞記事



水は命のち

私たちのからだは、水がなくては生きていきません。

ひとのからだの60%は水分です。

赤ちゃんは85%が水分



私たちが、水を「ただとれだけ使っているの？」

世界の標準消費量

1人1日平均消費量は、日本は約1,600リットルです。

国	1人1日平均消費量 (リットル)
日本	1,600
アメリカ	1,200
インド	1,100
中国	600
ロシア	600
オーストラリア	1,200
南極大陸	50
北極大陸	100

私たちが飲む水はどこから来て、どこへ行くのでしょうか。

? → 水回の入口 → 人のからだ → トイレ → ?



9

10

11

12

河川基金


公益財団法人河川財団
による河川基金の助成
を受けています。



筑後川の概要

流域講座2018(後期)

2018年9月24日久留米大学51A教室
筑後川まるごと博物館運営委員会 銅田康成 1



水は命いのち

私たちのからだは、水がなくては生きてけません。

ひとのからだの60%は水分です。

赤ちゃんは 日5%の水分



私たちの体の60%は水分です。


私たちは 筑後川の水を飲み、筑後川に流しています。

そしてその水は、有明海に流れ込みます。

雨とよってまた川

そしてまた人のからだへ

筑後川の水は大丈夫???



1

3

4

筑後川とはどんな川?

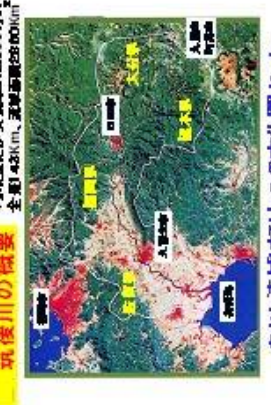
1. 独特の環境
2. 特色ある自然
3. 日本有数の暴れ川・筑業次郎伝(しゅうざう)
4. 古代より人との関わりが深い川
5. 人びとよ、知恵と努力で水を利用してきた
6. 多くの炊火みそをたらす川



筑後川の概要

4県にまたがり、流域人口109万人
全長426km、流域面積600km²

むかし流崎まひとつの文化園だった



筑業次郎・筑後川(干瀬川、筑後川、一花川) 有明海

福岡県 佐賀県

福岡県内



独特の自然



5

7

8

**個性豊かな文化を
持つ筑後川流域**

上流・小穂田焼きの里

中流・鎌倉三蔵水車

下流・大川漆園街



流域の豊富な歴史

筑後川は、古来より人々の生活と密接なかわりあってきた。




筑後川の水は大丈夫???

かつて伝説されたこと
を訴す証人



筑後時代の有明海



9

11

12

●筑後川流域講座

前期チラシ↓

あなたも筑後川のものしり博士に！流域講座2018(前期) 久留米大学公開講座「筑後川流域社会経済論Ⅰ」

おかげさまで 18年目！

【講座テーマ】 <第18期(前期)学芸員養成講座> 主催：久留米大学経済学部 筑後川流域には、豊かな自然と長い歴史に培われた文化をもち、個性豊かな地域にいろいろな人々が活躍しています。今年度は「筑後川流域と生活、経済、文化のつながり」をテーマに、流域の問題、課題やそのための対策など現場で活動している方より講義をお願いします。前期の講義は、「筑後川流域の風土と社会」を中心テーマとして、実際の地域や現場を見学する「現地学習」を行って筑後川を身近に感じる事を目的としている。



【期間】平成30年4月16日～平成30年7月23日 (※学芸員養成講座 講義風景) → 講義：月曜日 18：40～19：10 現地学習は別途 (土曜日または日曜日)

【対象】久留米大学の学生(単位認定有)および一般学生、一般市民

【参加費】講義は無料。現地学習は3000円程度(※※※※※)

【学芸員認定コース】 このコースの選択は自由です。

★学芸員ってどんな人？ (筑後川まるごと博物館運営委員会の活動は学芸員が行なっています)

筑後川まるごと博物館は、博物館のない博物館です。この博物館は流域に存在する多くのタカラモノのままが展示物となります。流域各地のあるがままの姿を流域の人々に解説、案内などして、地域の活性化や流域の環境改善につなげよう、この博物館を運営し活動していく人々を学芸員と呼んでいます。ただし、国家資格の学芸員のことはありません。

★認定されるには？ (4月第1週のオリエンテーション時に認定スケジュール、申込書などを配布します。)

認定には、流域講座(流域経済論)の講義6回以上の出席と、現地学習1回以上の参加及び認定レポートの提出が必要となります。またレポート提出後、面談を行ないます。講座、第1期～第16期までの学芸員認定者は62人です。

① この講座と「筑後川大学5月～6月のめくすと」6.7月久留米大学511教室で行う公開講座)は振り替えが可能です。(筑後川大学は5月～6月2月に毎月1回の公開講座です。案内チラシが別にあります。この講座中にも随時案内します。)

② 認定レポートは、講座の全日終了後、提出となります。(テーマ・詳細は認定希望者に改めて連絡します。)

【会場】久留米大学御井学舎 600号館1階51A教室 (5/14まで) (5/21以降)本館5階13D教室(久留米駅前1628 TEL (0942) 43-44119)

(アクセス：自動車：筑後川上り北尾センター→福岡県立大学院内駐車。新幹線：筑後川上り/久留米大学駅前下車徒歩5分)

【講座内容】流域講座2018(前期)「筑後川流域社会経済論Ⅰ」講義スケジュール(日別、内容等都合により変更することがあります)

- 1. 4月16日(月)「オリエンテーション」筑後川の概要とまるごと博物館 (福岡県：筑後川まるごと博物館事務局長)
2. 4月23日(月)「水循環の持続可能な活動」(福岡県：NPO法人ひた水環境ネットワークセンター理事)
3. 5月6日(日)上流現地学習「源流、九重高原-八丁原地熱発電所を巡る」
4. 5月7日(月)「上流域の自然エネルギーの現状」(伊勢美穂：ひた市民環境会議エネルギー部会長)
5. 5月14日(月)「ヒナモロコと共存できる農村環境の歴史」(高山賢治：写納塾)
6. 5月19日(土)「くめくめ体験学習「プロジェクトWET-水の教育プログラム実習」
7. 5月21日(月)「筑後川4橋と江戸期の水利の技術システム」(熊本県：下関市立大学名誉教授)以降の会場本館3階13D教室
8. 5月28日(月)「城島における源流と地域のインフラ整備」(熊本県：久留米大学非常勤講師、比較文化研究所研究員)
9. 6月4日(月)「着明海と下流域の生き物と自然の変化」(松宮士和郎：日本野鳥の会筑後支部長)
10. 6月25日(月)「筑後川の意味と質の歴史Ⅱ」(福岡県：筑後川まるごと博物館)
11. 7月1日(日)「中流現地学習「養生道橋と江戸期の舟運、H29 藤原水害の跡を巡る」
12. 7月2日(月)「流域版「今すぐできる防災対策」(久留米大学附属の地産物と防災)川崎雄
13. 7月9日(月)「21世紀型博物館の構築」(福岡県：久留米大学比較文化研究所)
14. 7月16日(月)「水環境基本法と流域の連携」(福岡県：久留米大学名誉教授)
15. 7月23日(月)「復習テスト(まとめ)」(鹿児島県：久留米大学経済学部教授)

【講座についての問い合わせ】久留米大学御井キャンパス教務課 TEL：(0942) 44-2071

【講座運営】筑後川まるごと博物館運営委員会 〒839-0863 福岡県久留米市区分 1986-4-201



10/13 現地学習 上流域-小島田橋の風 11/24 体験学習-プロジェクトWET実習 7/13



あなたも筑後川のものしり博士に！流域講座2018(後期) 久留米大学公開講座「筑後川流域社会経済論Ⅱ」

おかげさまで 18年目！

【講座テーマ】 <第18期(後期)学芸員養成講座> 主催：久留米大学経済学部 筑後川流域には、豊かな自然と長い歴史に培われた文化をもち、個性豊かな地域にいろいろな人々が活躍しています。今年度は「筑後川流域と生活、経済、文化のつながり」をテーマに、流域の問題、課題やそのための対策など現場で活動している方より講義をお願いします。前期の講義は、「筑後川流域の風土と社会」を中心テーマとして、実際の地域や現場を見学する「現地学習」を行って筑後川を身近に感じる事を目的としている。



【期間】平成30年9月24日～平成31年1月7日 (※学芸員養成講座 講義風景) → 講義：月曜日 18：40～19：10 現地学習は別途 (土曜日または日曜日)

【対象】久留米大学の学生(単位認定有)および一般学生、一般市民

【参加費】講義は無料。現地学習は3000円程度(※※※※※)

【学芸員認定コース】 このコースの選択は自由です。

★学芸員ってどんな人？ (筑後川まるごと博物館運営委員会の活動は学芸員が行なっています)

筑後川まるごと博物館は、博物館のない博物館です。この博物館は流域に存在する多くのタカラモノのままが展示物となります。流域各地のあるがままの姿を流域の人々に解説、案内などして、地域の活性化や流域の環境改善につなげよう、この博物館を運営し活動していく人々を学芸員と呼んでいます。ただし、国家資格の学芸員のことはありません。

★認定されるには？ (9月第1週のオリエンテーション時に認定スケジュール、申込書などを配布します。)

認定には、流域講座(流域経済論)の講義6回以上の出席と、現地学習1回以上の参加及び認定レポートの提出が必要となります。またレポート提出後、面談を行ないます。講座、第1期～第17期までの学芸員認定者は62人です。

① この講座と「筑後川大学10月～11月の流域各地での公開講座)は振り替えが可能です。(筑後川大学は5月～6月2月に毎月1回の公開講座です。案内チラシが別にあります。この講座中にも随時案内します。)

② 認定レポートは、講座の全日終了後、提出となります。(テーマ・詳細は認定希望者に改めて連絡します。)

【会場】久留米大学御井学舎 600号館1階51A教室 久留米市御井町1655 TEL (0942) 43-44119

(アクセス：自動車：筑後川上り北尾センター→福岡県立大学院内駐車。新幹線：筑後川上り/久留米大学駅前下車徒歩5分)

【講座内容】流域講座2018(後期)「筑後川流域社会経済論Ⅱ」講義スケジュール(日別、内容等都合により変更することがあります)

- 1. 9月24日(月)「[リ]リリリ」筑後川の概要と筑後川まるごと博物館 (福岡県：筑後川まるごと博物館事務局長)
2. 10月1日(日)「筑後川水害災害と森林の環境」(福岡県：財源忠彦：森林インストラクター)
3. 10月8日(月)「筑後川流域における環境教育の現状」(福岡県：久留米大学大学院、筑後川まるごと博物館学芸員)
4. 10月13日(土)上流現地学習「小島田橋の風、水郷日田と大川の風土を巡る」
5. 10月22日(月)「中流-田主丸の風土と歴史」(高山賢治：地産づくりプランナー)
6. 10月29日(月)「川で活動する住民団体等の役割と取り組み」(田上敏博：(一社)北部九州河川利用協会専務理事)
7. 11月12日(月)「水郷-柳川の風土と再生の歴史」(立花民雄：柳川水の会会長)
8. 11月19日(月)「下釜ダムと鶴の風土、闘争から60年」(吉賀純雄：吉賀河川図書館)
9. 11月24日(土)くめくめ体験学習「プロジェクトWET-水の教育プログラム実習」
10. 12月3日(月)「筑後川流域の骨髄と歴史の歴史(古墳時代～)」(福岡県：筑後川まるごと博物館学芸員)
11. 12月9日(日)下流現地学習「藤川瀬田敷、八丁原山古墳と矢部川を巡る」
12. 12月10日(月)「(仮)下流大川の近代化遺産と佐賀財閥の興わり」(福岡県：NPO法人大川未来塾)
13. 12月17日(月)「地図で見ると久留米の歴史、風土」(佐賀県：久留米大学文学部特任教授)
14. 12月24日(月)「筑後川流域の経済地図」(鹿児島県：久留米大学経済学部教授、筑後川まるごと博物館館長)
15. 1月7日(月)「復習テスト」(鹿児島県：久留米大学経済学部教授、筑後川まるごと博物館館長)

【講座についての問い合わせ】久留米大学御井キャンパス教務課 TEL：(0942) 44-2071

【講座運営】筑後川まるごと博物館運営委員会 〒839-0863 福岡県久留米市区分 1986-4-202 Tel, fax：(0942) 21-9311



10/13 現地学習 上流域-小島田橋の風 11/24 体験学習-プロジェクトWET実習 12/9 現地学習 下流域-藤川瀬田敷



●筑後川流域リバーツーリズム
2018年5月～2018年7月 チラシ↓

筑後川現地学習(筑後川まるごとリバーパーク・フィールドワーク) 2018年5～7月の予告

筑後川を学ぶ公開講座、久留米大学での流域講座2018「筑後川流域社会経済論Ⅰ」及び筑後川大学2018の市民受講者向け現地学習(2+1+1)の案内です。一般の方もリバーパーク会員になることで定員に空きがあれば参加できます。

1. 上流現地学習「源流探訪、九重高原と八丁原地熱発電所巡り」

- 日時: 5月6日(日) バスツアー
- 参加費: 実費を受付時に集めます。
- 集合: 久留米大学東門北側Pに8:45迄に集合(9:00に出発)
- 募集: 一般5人まで ※雨天決行。このツアーには他に学生が参加します。
- コース: 久留米大学9:00発→高遠道日田10→下笠ダム→小園町で昼食(各自自由)→筑後川源流、湖の本九重→やまなみハイウェイ→牧の戸神→九重高原→八丁原地熱発電所見学→九重10→久留米大学着解散17:30頃



筑後川源流と地熱発電所見学

2. 中流現地学習「歴史探訪・弥生遺跡と江戸期の井堰、豪雨水害跡巡り」

- 日時: 7月1日(日) バスツアー
- 参加費: 実費を受付時に集めます。
- 集合: 久留米大学東門北側Pに9:15迄に集合(9:30に出発)
- 募集: 一般5人まで ※雨天決行。このツアーには他に学生が参加します。
- コース: 久留米大学9:30発→弥生の田大集落・平塚川筋遺跡→三浦水車→川の駅三浦水車の里あさくらで昼食(各自自由)→山田堰・水神社→新巻豪雨水害の跡→夜明ダム・袋野堰→久留米大学着解散17:00頃



筑後川の江戸期の井堰を巡る

現地学習・集合場所の案内
みいアリーナ北側・東門バス停横のP



★集合場所の案内(各回共通)
⇒久留米大学東門北側駐車場(入口付近にバス停、道路向かいにローソンがあります)

※上記内容は天候、文)

※このツアー中に撮影

することをご了承ください

★企画、実施、問い合わせ先: 筑後川まるごと博物館運営委員会 〒830-0863 福岡県

久留米 TEL: FAX: (0942)21-9311 E-Mail: corref@20@yahoo.co.jp ホームページ: <http://www.cornn.jp/>

筑後川現地学習(筑後川まるごとリバーパーク)参加申込書 (会員向け募集)

1. 下の1～2に○印をつけてください。 ※これは筑後川まるごとリバー

2. 7月1日(日)中流現地学習「歴史探訪・弥生遺跡と江戸期の井堰、豪雨水害跡」

●申込者のお名前: (全角記入)

●連絡先住所: 〒

TEL: 携帯 TEL: (携帯電話の番号は別紙記載)

FAX: Eメール: (今後の案内を差し上げますのでできるだけ記入ください)



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています

2018年10月～2018年12月

筑後川現地学習(筑後川まるごとリバーパーク・フィールドワーク) 2018年10、12月の予告

筑後川を学ぶ公開講座、久留米大学での流域講座2018「筑後川流域社会経済論Ⅱ」及び筑後川大学2018の市民受講者向け現地学習(2+1+1)の案内です。一般の方もリバーパーク会員になることで定員に空きがあれば参加できます。

1. 上流現地学習「小鹿田焼の里、水郷日田と大山の風土を巡る」

- 日時: 10月13日(土) H29豪雨被災地、小野川大規模斜面崩壊現場を巡ります
- 参加費: 実費を受付時に集めます。
- 集合: 久留米大学東門北側Pに8:45迄に集合(9:00に出発)
- 募集: 一般7人まで ※雨天決行。このツアーには他に学生が参加します。
- コース: 久留米大学9:00発→10:00高遠道日田10→小野川斜面崩壊豪雨被災地→小鹿田焼の里散策、資料館→12:00昼食(各自自由)→三隈川のせせらぎ散策→大山ダム、新巻水郷→日田10→久留米大学着解散17:30頃 日帰り



小鹿田の鹿ワスの音が心地よく響く

2. 下流現地学習「柳川掘割散策、八女岩戸山古墳と矢部川を巡る」

- 日時: 12月9日(日) 日帰り 柳川の沖の場で昼食時間をとります
- 参加費: 実費を受付時に集めます。
- 集合: 久留米大学東門北側Pに9:15迄に集合(9:30に出発)
- 募集: 一般5人まで ※雨天決行。このツアーには他に学生が参加します。
- コース: 久留米大学9:30発→10:30柳川掘割散策→12:00沖の場で昼食(各自自由)→13:30八女岩戸山古墳→14:15矢部川散策→15:00八女伝統工芸館→久留米大学着解散17:00



柳川の掘割散策

現地学習・集合場所の案内

みいアリーナ北側・東門バス停横のP



★集合場所の案内(各回共通)
⇒久留米大学東門北側駐車場(入口付近にバス停、道路向かいにローソンがあります)

※上記内容は天候、交通状況などにより変更することがあります。

※高層となった時点で、申し込み受け付けは締め切ります。

※このツアー中に撮影した写真や録音は各自の立派等に利用

することをご了承ください。

★企画、実施、問い合わせ先: 筑後川まるごと博物館運営委員会 〒830-0863 福岡県久留米市南区1966-4-202

TEL: FAX: (0942)21-9311 E-Mail: corref@20@yahoo.co.jp ホームページ: <http://www.cornn.jp/menu/>

★下の申込み書に記入して上の所へ送ってください。※FAXの方はそのまま送ってください→FAX: (0942)21-9311

筑後川現地学習(筑後川まるごとリバーパーク)参加申込書 (会員向け募集) <定員以内で、先着順>

1. 下の1～2の参加されるところに○印をつけてください。 ※これは筑後川まるごとリバーパーク入会申込み(無料)を兼ねています。

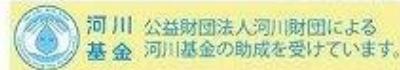
2. 10月13日(土)上流現地学習「小鹿田焼の里、水郷日田と大山の風土を巡る」 ●申込締切10月6日(土)

●申込者のお名前: (全角記入)

●連絡先住所: 〒 ●申込人数: 一般大人 人

TEL: 携帯 TEL: (携帯電話の番号は別紙記載のためできるだけ記入してください)

FAX: Eメール: (今後の案内を差し上げますのでできるだけ記入ください)



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています

●子どもたちの体験学習

2018年度ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部 長期プログラム

第8期 “ちくご川子ども学芸員養成講座”

子ども学芸員の認定書授与！探究心をキミの得意をグーンと伸ばそう！「昆虫のものしり博士をめざせ！」

★この活動は、平成29年度「日本自然保護大賞」に入選しました。★

子ども学芸員の認定書授与！探究心が育ちます。

- 昆虫について、もっと知りたい子どもたちを募集！専門家と一緒に6回の活動に参加して7月・8月に調査研究した結果をまとめ、発表すれば「ちくご川子ども学芸員」の認定書を授与します。全回参加者は「こども学芸員1級」を認定します。また九州や県内大会での発表の機会が与えられます。自然体験活動指導者(Natural Guide)による活動です。
1. 日時：①7/15(日) ②8/5(日) ③9/2(日) ④10/7(日) ⑤11/4(日) ⑥12/2(日) (各日1日帰り、原則全回参加)
 2. 集合時間：各回とも13:00受付開始(10分前には集合)～16:00終了
 3. 実施場所：筑後川防災施設ぐるめウス (連絡先は下記参照) 及び周辺
 4. 参加者：原則小学生以上・中学生も可、定員「昆虫」班15人程度
・保護しやすい服装(帽子、タオル、水筒、虫歯薬は虫とり網、かごを持参する)。
 5. 参加費：受付時に実費をご負担下さい。
全回参加者を優先します。全回参加者で調査の場合は部分参加はできません。空きがあれば①～⑥の部分参加は可能です。①、④、⑥は別途申し込みが必要です。
 6. 申込み：筑後川防災施設ぐるめウス (窓口、FAX、Eメール、ハガキにて)
「名前、年齢(小中学生の期)住所、電話番号(携帯等)、FAX Eメール」を記入
 7. お問い合わせ：筑後川防災施設ぐるめウス **全回参加者を優先**



第1回7/15締切、以降は随時受付、各回の7日前が締切 先着順
お問い合せ：筑後川防災施設ぐるめウス **全回参加者を優先**
〒839-0861 久留米市新合川1丁目1-3 (※平日のみ受付) (担当：藤田) **TEL:0942-45-5042 FAX:0942-45-5043 Eメール:kurusu@theia.on.ne.jp**

7月15日(日) (開始日)	8/5(日), 9/2(日), 10/7(日), 11/4(日)	12月2日(日) (終了日)
12:00 受付開始 (1日帰り)	13:00 集合、開講 (2,3,4,5日帰り)	12:00 集合、開講 (6日帰り)
13:10 開講式	13:10 今日の進め方	13:10 今日の進め方(まとめと発表)
13:20 7(A)Fリテ	13:20 フィールドワーク	13:20 今日の活動のまとめ
13:30 フィールドワーク	15:30 今日のまとめ作成	15:00 各自の活動成果の発表
15:30 今日のまとめ作成	16:00 終了	15:40 「こども学芸員」認定書授与
16:00 終了	※雨天決行・雨のときは別のプログラムは室内に変更して実施。	16:00 閉講

活動内容：「昆虫」班→7月～11月初夏、夏、秋の高良川周辺の昆虫調査、12月は各自のまとめと発表をします。
9. 主催：筑後川まると博物館運営委員会 (NPL R-Green) (藤田 協力：Tullugaa Factory (昆虫博士 おま)

2018年度ちくご子どもキャンパス・ちくご川子ども学芸員養成講座・申込み用紙 返信 FAX:0942-45-5043
参加日：全回参加、7/15、8/5、9/2、10/7、11/4、12/2
参加者全員の名前を記入してください **★全回参加者を優先します**
参加者名：_____ 学年：小学_____ 年生 男・女
住所：〒_____ 保護者名：_____
携帯TEL: _____ TEL: _____ FAX: _____
Eメール: _____ ※定員超過の際キャンセル待ちの希望(○印を)→1.希望する 2.しない



※河川基金のロゴマークをチラシの下部に掲載

2018年度ちくご子どもキャンパス ちくご川子ども学芸員養成講座(長期) ステップアッププログラム

カッコイイ 昆虫標本づくり講座 2回連続講座

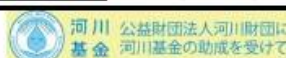
昆虫標本づくりの終了書授与！
「昆虫のものしり博士」をめざせ！
「昆虫のものしり博士」を専門の先生についてきちんと学びたい、もっと知りたい子どもたちを募集します！ベテランの昆虫博士(藤、ハエ、甲虫、蝶の専門家)と共に2回の活動に参加して、部集の仕方や標本づくりを学びます。標本づくりは昆虫をじっくり調べ、記録をとるのには必要です。最終回まで参加の方には終了書を授与します。夏休み自由研究にも役立ちます。
1. 日時内容：2回連続の講座です。第1回10:00開始～16:00終了。第2回13:00開始～16:00終了

1. 第1回 4月22日(日)
昆虫標本の作り方の基本を学びます(標本づくりの道具、材料、自分だけの昆虫の標本作りに向けて、昆虫の保存方法を学びます。
標本作り実習(蝶、トンボの標本、甲虫の標本、微小昆虫の自然標本作り)を学びます。
2. 第2回 5月27日(日)
標本作りの仕上げ、保存方法、ラベルの書き方などを学び、できた作品を展示します。最終回一人一人に終了書を授与します。

※この内容は状況により変わることがありますのでご了承下さい。
※雨天決行・雨のときは別のプログラムは室内に変更して実施します。

2. 実施場所：筑後川防災施設ぐるめウス 及び周辺
3. 参加者：小学生・中学生・高校生も可 定員20人以内
活動しやすい服装(帽子、水筒、筆記用具、虫とり網、かごを持参。1日帰りは実費持参)
4. 参加費：実費を受付時に集めます。
●2回の講座で標本が完成するため、全回参加できることが必要です。
5. 申込み：筑後川防災施設ぐるめウス (窓口、FAX Eメール、ハガキにて)
申込み締め切り：4月15日(日) 先着順 (定員に達しない場合は締切の後も受付)
6. お問い合わせ：筑後川防災施設ぐるめウス
〒839-0861 久留米市新合川1丁目1-3 (※平日のみ受付) (担当：藤田、後藤) **TEL:0942-45-5042 FAX:0942-45-5043 Eメール:kurusu@theia.on.ne.jp**
7. 主催：筑後川まると博物館運営委員会 (※募集はすべてEメールです)。
実施協力：Tullugaa Factory、三枝昆虫自然史研究所、ほか

2018年度「昆虫標本づくり講座」申込み用紙 **★全回参加が必要→返信 FAX:0942-45-5043**
参加日：1回目4月22日、2回目5月27日 →2回の講座で、昆虫標本の仕方から標本の完成までを学びます。
参加者名：_____ 学年：(○印)→小学_____ 中学_____ 高校_____ 年生 男・女
住所：〒_____ 保護者名：_____
携帯TEL: _____ TEL: _____ FAX: _____
Eメール: _____ ※定員超過の際キャンセル待ちの希望(○印を)→1.希望する 2.しない



2018年度ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部 水のものしり博士をめざせ！プロジェクトWET体験

“体験ゲームでわかる「水のふしぎ」”

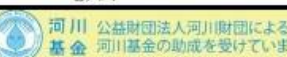
私たちの命と生活に欠かせない「水」について、アクティブラーニングによって楽しく学びます。体動かない体験ゲームなどで「水の大切さ」や「水の性質」などについてわかりやすく理解でき、多くのことに気付かれます。
この活動は、国際的な水教育プログラム・プロジェクトWETのファシリテーターおよびエデュケーター資格を持った指導者が行います。

1. とき：5月19日(土) 14:00～15:30
2. 集合：13:50 受付開始
3. 実施場所：筑後川防災施設ぐるめウス (連絡先は下記参照)
4. 講師：プロジェクトWETファシリテーター、エデュケーター資格保持者
5. 参加対象者：小学生 定員20人 親子同伴可
(保護者、きょうだいなど家族での参加を歓迎します) 体を動かしますので、動きやすい服装で参加してください。
6. 参加費：実費を受付時に集めます。
(同伴の保護者は無料です)
7. 申込み先：筑後川防災施設ぐるめウス(窓口、FAX、Eメール、郵送)
5月15日(木)迄、先着順にて決定
受付締切日に定員に満たない場合は繰上り受け付けます。
8. お問い合わせ：筑後川防災施設ぐるめウス
〒839-0861 久留米市新合川1丁目1-3 (※平日のみ受付) (担当：藤田) **TEL:0942-45-5042 FAX:45-5043 Eメール:kurusu@theia.on.ne.jp**



9. 活動予定：※雨天決行(すべて屋内でのプログラムです)
暑い夏、夏風、水のふしぎ、水入替、水のふしぎ、などこのプログラムは国際的な水教育プログラム・プロジェクトWETの指導者資格を持った者がのみが行えるものです。
●以上の内容は状況により変わることがありますので、その時はご了承下さい。
※このプログラムで撮影した写真や映像は、広報等に使用することがあります。
主催：筑後川まると博物館運営委員会 TEL&FAX:0942-21-9311 Eメール: pwpf@222yaho.co.jp

ちくご子どもキャンパス2018 申込み用紙 返信 FAX:0942-45-5043
2018年5月19日(土)「体験ゲームでわかる「水のふしぎ」」 →5月15日(木)迄、先着順
お名前：_____ 学年：小学_____ 年生 男・女
住所：〒_____ 保護者名：_____
TEL: _____ 携帯TEL: _____
FAX: _____ Eメール: _____



2018年度ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部 (3回連続教室)

“夏の自然体験教室 こ～ら川こども探検隊”

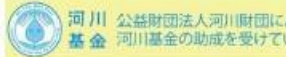
夏休みの自由研究はこれで完成！川での活動、魚の専門家が指導する自然体験活動！
筑後川の支流、水のきれいな高良川の中、下流を探検して、川に入って魚とりなどの自然観察を行います。最後に自分の作品(図鑑、マップ、壁新聞)にまとめて発表します。3回参加すれば、夏休みの自由研究の出来上がり！

1. 日時：①7月16日(祝月)9:30～12:30 ②7月25日(水)9:00～12:30 ③7月29日(日)9:30～15:00(3日は弁当持参)
2. 集合時間：①9:30 ②9:00 ③9:30 受付開始(10分前には集合)
3. 実施場所：筑後川防災施設ぐるめウス 及び高良川周辺
4. 参加者：原則小学生以上 (低学年は親子同伴で) 各回定員合計20人程度 ③7月29日のみの参加は不可です。
5. 持ってくるもの：水にぬれてもいい靴、保護タオル、帽子、水筒
魚捕りの網(あみ)など、最終回は弁当持参する
6. 参加費：実費を受付時に集めます。全回参加者を優先
※定員に空きがあれば部分参加もできます。
7. 申込み：筑後川防災施設ぐるめウス (窓口、FAX、Eメール、ハガキにて)
「名前、年齢(小中学生の期)住所、電話番号(携帯等)、FAX Eメール」を記入
申込み締切7月3日 先着順に決定します。
8. お問い合わせ：筑後川防災施設ぐるめウス
〒839-0861 久留米市新合川1丁目1-3 (※平日のみ受付) (担当：藤田、後藤) **TEL:0942-45-5042 FAX:0942-45-5043 Eメール:kurusu@theia.on.ne.jp**
9. 活動予定：以下の内容は状況により変わることがありますのでご了承下さい。

①7月16日(祝月) (1回目) 下流探検	②7月25日(水) (2回目) 中流探検	③7月29日(日) (3回目) 上流探検
9:30 受付開始	9:00 受付 9:30 ぐるめウス出発	9:30 受付開始 9:45 体験のスライド観覧
9:45 開講式、アイスブレイク	9:50 中流の川に到着、自然体験活動	10:00 各自のまとめ作業開始
10:15 高良川で自然体験活動 川の水質調査、魚捕り	12:00 ぐるめウスに帰り今日のまとめ	12:00 昼食休憩、ぐるめウス水質調査見学
12:00 今日のまとめ	12:30 終了	13:00 各自のまとめ自由研究作品づくり
12:30 終了	※雨天決行・雨のときは別のプログラムは室内に変更して実施。	14:30 各自のまとめ成果の発表会
15:00 閉講、解散		

・活動内容：1,2回目は高良川に入って活動します→①下流②中流の川で各専門家の指導のもとに生き物の採集、観察をします。③最終回はぐるめウスで自分の成果作品(図鑑、マップ、壁新聞)をつくり、みんなの前で発表します。
9. 主催：筑後川まると博物館運営委員会 協力：NPO法人ヒナモロこども探検隊の会、他
※このプログラムで撮影した写真や映像は、印刷物やホームページ等に使用することがありますのでご了承下さい。

2018年度ちくご子どもキャンパス・こ～ら川こども探検隊 申込み用紙 返信 FAX:0942-45-5043
参加日：1.7月16日 2.7月25日 3.7月29日 4.全3回参加 一希望の所に○印をつける
参加者名：_____ 学年：小学_____ 年生 男・女 (参加者を記入)
住所：〒_____ 保護者名：_____
携帯TEL: _____ TEL: _____ FAX: _____
Eメール: _____ ※定員超過の際キャンセル待ちの希望(○印を)→1.希望する 2.しない



2018年度 ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部
水のものしり博士をめざせ！プロジェクト WET 体験
“体験ゲームでわかる「水のふしぎ」”

私たちの命と生活に欠かせない「水」について、アクティブラーニングによって楽しく学びます。体を動かす体験ゲームなどで「水の大切さ」や「水の性質」などについてわかりやすく理解でき、多くのことに気付かれます。
この活動は、国際的な水教育プログラム・プロジェクト WET のファシリテーターおよびエデュケーター資格を持った指導者が行います。

1. 日時：8月4日(土) 14:00～15:30
2. 集合：13:50 受付開始
3. 実施場所：筑後川防災施設くめウス (連絡先は下記参照)
4. 講師：プロジェクト WET ファシリテーター、EPT エデュケーター資格保持者
5. 参加対象者：小学生 定員 20人 親子同伴可
(保護者、きょうだいなど家族での参加を歓迎します) 体を動かしますので、動きやすい服装で参加してください。
6. 参加費：実費を受付時に集めます。
(同伴の保護者は無料です)
7. 申込み先：筑後川防災施設くめウス (窓口、FAX、Eメール、電話) 7月28日(日) 締切、先着順にて決定
受付締切日に定員に満たない場合は延長して受付可です。
8. お問い合わせ：筑後川防災施設くめウス
〒839-0861 久留米市新倉川1丁目1-3 (済摩公園とゆめタウンの間) (田島 編田) TEL: 0942-45-5042 FAX: 45-5043 Eメール: kurumous@theia.oon.ne.jp
9. 活動予定：※雨天決行(すべて屋内でのプログラムです)
青い惑星、驚異の旗、水リンピック、侵入者、ハグのついで! プレなど
このプログラムは国際的な水教育プログラム・プロジェクト WET の指導者資格を持った者のみが行えるものです。



子どもキャンパス 2018 申込み用紙 返信 FAX: 0942-45-5043
2018年8月4日(土)「体験ゲームでわかる「水のふしぎ」」 →7月28日(日) 締切、先着順
お名前: _____ 学年: 小学 _____ 年生、男・女
住所: 〒 _____ 保護者名: _____ 同伴: する・しない
TEL: _____ 携帯 TEL: _____
FAX: _____ Eメール: _____

河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

2018年度 ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部
“ちくご川どうぶつ探偵団” 動物カメラマンと野生動物ふしぎをさがそう!

筑後川の河川敷にはいろんな野生動物の巣があります。特に日本一小さいカヤネズミは、人の顔ほどで体長は5cm、体重は5g程度しかありません。ススキなどの葉を利用して空中に小さな球形の巣を作り子育てをします。河川敷などの水辺の環境指標生物です。絶滅危惧種に指定されているカヤネズミの巣やそのほかの動物(タヌキなど)の痕跡などを探して、その生態と写真の撮り方をプロの動物カメラマンに学びます。はたして見つけることが出来るかな?
12:50 受付開始

1. 日時：8月19日(日) 13:00～16:00
2. 実施場所：筑後川防災施設くめウスとその周辺
3. 参加者：原則小学生～中学生も可、定員 20人
運動靴(サンダルは不可)および着替え、タオル、帽子は必需品。デジタルカメラがある人は持ってくることを推奨します。
4. 参加費：実費を受付時に集めます。
実費はありません。
5. 申込み：8月12日(日) 締切、先着順にて決定。
筑後川防災施設くめウス (窓口、FAX、Eメール、ハガキ)
6. お問い合わせ：筑後川防災施設くめウス
〒839-0861 久留米市新倉川1丁目1-3 (済摩公園裏側) 田島 編田 TEL: 0942-45-5042 FAX: 0942-45-5043 Eメール: kurumous@theia.oon.ne.jp
7. 活動予定：以下の内容は状況により変更することがありますのでご了承ください。
※雨天決行(雨のときは屋外のプログラムは室内に変更して実施します)



12:50 受付開始 13:00～開校、参加者の自己紹介
13:15～今日の活動内容や注意事項などを説明
13:30～筑後川河川敷でフィールドワーク、動物の巣やフンの痕跡探し
動物の生態や動物写真の撮り方を学ぶ。
14:50～くめウスへ戻り、生き物の生態などの屋内学習
ちくご川で見かける動物たちの巣やフンの見つけ方など
15:45～各自まとめと感想の発表 16:00～終了、解散
※このプログラムで撮影した写真や映像は、印刷物やホームページ等に使用することがありますのでご了承ください。
8. 主催：筑後川まごど博物館運営委員会 協力：津田聖之介生物生態写真研究所(動物カメラマン)
9. 協力：筑後川まごど博物館(福岡県および久留米市などの筑後地区の市町村で構成)

子どもキャンパス・ちくご川どうぶつ探偵団 申込み用紙 返信 FAX: 0942-45-5043
2018年度 8月19日(日)に参加申し込みします。 ※8月12日(日) 締切、先着順で決定。20名
お名前: _____ 学年: 小学 _____ 年生、男・女 ●参加者全員の名前を記入
住所: 〒 _____ 保護者名 _____
TEL: _____ 携帯 TEL: _____
FAX: _____ Eメール: _____
※定員超過の際、キャンセル待ちの希望(どちらかに○印を)→1. 希望する 2. 希望しない

河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

2018年度 ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部
水のものしり博士をめざせ！プロジェクト WET 体験
“体験ゲームでわかる「水のふしぎ」”

私たちの命と生活に欠かせない「水」について、アクティブラーニングによって楽しく学びます。体を動かす体験ゲームなどで「水の大切さ」や「水の性質」などについてわかりやすく理解でき、多くのことに気付かれます。
この活動は、国際的な水教育プログラム・プロジェクト WET のファシリテーターおよびエデュケーター資格を持った指導者が行います。

1. 日時：①10月28日(日) 14:00～15:30
②11月24日(土) 14:00～15:30
2. 集合：13:50 受付開始 ●雨天決行(すべて屋内でのプログラムです)
3. 実施場所：筑後川防災施設くめウス (連絡先は下記参照)
4. 講師：プロジェクト WET ファシリテーター、EPT エデュケーター資格保持者
5. 参加対象者：小学生 定員 20人 親子同伴可
(保護者、きょうだいなど家族での参加を歓迎します) 体を動かしますので、動きやすい服装で参加してください。
6. 参加費：実費を受付時に集めます。
(同伴の未就学児、保護者は無料です)
7. 申込み：①10月21日 ②11月17日 先着順にて決定
受付締切日に定員に満たない場合は延長して受付可です。
「筑後川防災施設くめウス」まで(窓口、FAX、Eメール、電話)
〒839-0861 久留米市新倉川1丁目1-3 (済摩公園とゆめタウンの間) (田島 編田) TEL: 0942-45-5042 FAX: 45-5043 Eメール: kurumous@theia.oon.ne.jp
8. 活動予定：この写真は一例です。このプログラムは国際的な水教育プログラム・プロジェクト WET の指導者資格を持った者のみが行えるものです。



子どもキャンパス「体験ゲームでわかる「水のふしぎ」」 申込み用紙 返信 FAX: 0942-45-5043
1. 10月28日(日) 2. 11月24日(土) →参加する日に○印を ①10月21日 ②11月17日、先着順
お名前: _____ 学年: 小学 _____ 年生、男・女
住所: 〒 _____ 保護者名: _____ 同伴: する・しない
TEL: _____ 携帯 TEL: _____
FAX: _____ Eメール: _____

河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

2018年度 ちくご子どもキャンパス・かんきょう学部
水のものしり博士をめざせ！プロジェクト WET 体験
“体験ゲームでわかる「水のふしぎ」”

私たちの命と生活に欠かせない「水」について、アクティブラーニングによって楽しく学びます。体を動かす体験ゲームなどで「水の大切さ」や「水の性質」などについてわかりやすく理解でき、多くのことに気付かれます。
この活動は、国際的な水教育プログラム・プロジェクト WET のファシリテーターおよびエデュケーター資格を持った指導者が行います。

1. 日時：2月2日(土)
14:00～15:30
2. 集合：13:50 受付開始 ●雨天決行(すべて屋内でのプログラムです)
3. 実施場所：筑後川防災施設くめウス (連絡先は下記参照)
4. 講師：プロジェクト WET ファシリテーター、EPT エデュケーター資格保持者
5. 参加対象者：小学生 定員 20人 親子同伴可
(保護者、きょうだいなど家族での参加を歓迎します) 体を動かしますので、動きやすい服装で参加してください。
6. 参加費：実費を受付時に集めます。
(同伴の未就学児、保護者は無料です)
7. 申込み：①1月27日 先着順にて決定
受付締切日に定員に満たない場合は延長して受付可です。
「筑後川防災施設くめウス」まで(窓口、FAX、Eメール、電話)
〒839-0861 久留米市新倉川1丁目1-3 (済摩公園とゆめタウンの間) (田島 編田) TEL: 0942-45-5042 FAX: 45-5043 Eメール: kurumous@theia.oon.ne.jp
8. 活動予定：この写真は一例です。このプログラムは国際的な水教育プログラム・プロジェクト WET の指導者資格を持った者のみが行えるものです。



子どもキャンパス「体験ゲームでわかる「水のふしぎ」」 申込み用紙 返信 FAX: 0942-45-5043
2月2日(土)に参加申し込みします。 ①1月27日 先着順
お名前: _____ 学年: 小学 _____ 年生、男・女
住所: 〒 _____ 保護者名: _____ 同伴: する・しない
TEL: _____ 携帯 TEL: _____
FAX: _____ Eメール: _____

河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

2019年<第1回リバークルーフエスティバル in 筑後川>同時開催

みんなでやってみよう! **プロジェクトWET**

「体験ゲームでわかる“水のふしぎ”」

私たちの命と生活に欠かせない「水」について、アクティブラーニングによって楽しく学びます。体を動かす体験ゲームなどで「水の大切さ」や「水の性質」などについてわかりやすく理解でき、身近な環境について多くのことに気付かされます。

子どもたちは、学校の授業や自由研究などで、水について学んだり調べるときに役立つヒントや知識が得られます。

★保護者、きょうだいなど家族での参加を歓迎します。

●この活動は、国際的な水教育プログラム・プロジェクトWETのファシリテーターおよびインストラクター資格を持った指導者が行います。



青い惑星



水リレーピック



フュービーズ



水のふしぎ

1. 日時: **3月9日(土) 11:00~12:30**

2. 集合: **10:45 受付開始** ●雨天時は雨天について変更することがあります。

3. 実施場所: **筑後川防災施設くろめウス**

〒839-0861 久米東市新合川1丁目1-3 (百年公園とゆめタウンの間)

TEL:0942-45-5042 FAX:45-5043 Eメール: kuramou@theia.ocn.ne.jp

4. 講師: **プロジェクトWET ファシリテーター、エデュケーター**

5. 活動内容: 本の写真は一冊です。室内で4つの体験型アクティビティを実施します。1つのアクティビティは20分間で、親子で楽しめる内容です。

途中参加可。雨天時は、趣向が限られるため、規模を縮小して行う予定です。

6. 参加対象者: **園児、小学生など20人ほど 親子同伴可**

＜保護者、きょうだいなど家族での参加を歓迎します！＞

＜定員に余裕があれば、大人も参加可＞ 動きやすい服装で。

7. 申込み: **〆切3月8日** 先着[定員に満たない時は当日も受付付]

下の申込み票に記載して、実施団体またはくろめウスまで

8. 参加費: **無料**

●以上の内容は状況により変更することがありますので、その時はご了承下さい。

●このプログラムで撮影した写真や映像は、広報等に使用することがあります。

●実施団体(問い合わせ先): **筑後川まるごと博物館運営委員会**

TEL&FAX:0942-21-9311 携帯TEL:090-7989-6901(編出) Eメール:ppmpf822@yahoo.co.jp

プロジェクトWET「体験ゲームでわかる“水のふしぎ”」申込み票 ●返信 FAX:0942-21-9311

2019年3月9日(土)の活動に参加します。 〆切3月8日 先着順

お名前: _____ 学年: 小学 _____ 年生, 男・女

住所: 〒 _____ 保護者名: _____ 同伴: する・しない

TEL: _____ 携帯TEL: _____



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

【祝】『生物多様性アクション大賞2018』審査員賞受賞！




トップ > くらしの情報 > 環境・ごみ・リサイクル > 自然環境の保全 > 【祝】『生物多様性アクション大賞2018』審査員賞受賞！

【祝】『生物多様性アクション大賞2018』審査員賞受賞！

更新日：2019年02月21日 10時19分

このページの評価をお願いいたします。

「ちくご川子ども学芸員養成講座」が『生物多様性アクション大賞2018』審査員賞を受賞しました！



ちくご川子ども学芸員養成講座
筑後川まるごと博物館運営委員会（福岡県久留米市）

評価のポイント
筑後川そのものを博物館と見立て、筑後川流域の市民団体や専門家たちと連携して、子どもたちが自然や川と水の大切さを学び、地域のリーダーとして育成する活動を行っています。流域全体を活用し、子どもたちが主体的に活動できる人材育成の場となっている点が大変素晴らしい。また、高校生がこれまでの経験をもとに小、中学生の参加者を指導する、世代を超えたコミュニケーションとお互いに切磋琢磨できる環境が8年間続いているという持続力も、高く評価されました。

「ちくご川子ども学芸員養成講座」ってなに？

筑後川防災施設ぐるめウスで活動する「筑後川まるごと博物館運営委員会」が、2011年から毎年実施している活動です。目標は「子どもたちの得意分野をグリーンと伸ばそう」。筑後川や高良川で、専門家が子どもたちに丁寧に指導して、昆虫や植物についてフィールドワークを重ねて、各自調査研究を行っています。2018年までに通算71人の子どもたちが「ちくご川子ども学芸員」の認定書を授与しました。詳細は、下記のPDFをご覧ください。

- 「ちくご川子ども学芸員養成講座2018」活動紹介 [\(526キロバイト\)](#)
- 「ちくご川子ども学芸員養成講座」受賞記事 [\(256キロバイト\)](#)

「筑後川まるごと博物館運営会」活動紹介

「筑後川まるごと博物館運営委員会」では、「ちくご川子ども学芸員養成講座」の他にも、子どもたちの環境教育を行っています。ここでは、2019年2月2日（土曜日）に、筑後川防災施設ぐるめウスで開催された『体験ゲームでわかる「水のふしぎ」プロジェクトWET体験』について紹介します。

プロジェクトWET『体験ゲームでわかる「水のふしぎ」』

水に関する教育プログラム「プロジェクトWET」で、子どもたちに水について楽しく学んでもらいました。水の循環や私たちの暮らしとのつながり、水辺の動植物の「在来種」と「外来種」の関係などを、様々なアクティビティを通じて、学ぶことができました。参加者からは、「親子と一緒に活動するのが楽しくて良かった」「水の大切さや、水のふしぎな性質がわかった」などの声が聞こえていました。

- 公益財団法人「河川財団」ホームページ
- 水に関する教育プログラム「プロジェクトWET」パンフレット [\(3575キロバイト\)](#)



助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2018-6113-018	筑後川を学び 次世代へ伝える活動	筑後川まるごと博物館 運営委員会 浅見 良露

主な実施箇所 筑後川水系筑後川、高良川(福岡県久留米市)、筑後川防災施設くるめウス・久留米大学

A、子どもたちの体験学習等実施箇所
筑後川防災施設くるめウス

B、筑後川公開講座実施箇所
久留米大学御井キャンパス

河川基金ロゴ等表示状況写真

遠景	近景

延べ参加人数	一般	延べ 1,464 名	スタッフ・事務局	延べ 85 名
マスコミ等の反響	久留米市ホームページに掲載「ちくご川子ども学芸員養成講座」が『生物多様性アクション大賞 2018』審査員賞を受賞しました！ https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2100kankyougomi/3145kankyohozen/2019-0114-1229-293.html			